

**第一期中期目標期間及び平成22年度
公立大学法人首都大学東京 業務実績報告書 作成要領（案）**

この要領は、東京都地方独立行政法人評価委員会公立大学分科会（以下「公立大学分科会」という。）が定めた「公立大学法人首都大学東京の業務実績評価方針及び評価方法」に基づき、公立大学法人首都大学東京（以下「法人」という。）が作成し、公立大学分科会に提出する業務実績報告書（以下「業務実績報告書」という。）の記載方法等について定めるものである。

法人は、この作成要領に基づき業務実績報告書を作成するものとする。

1 全体的な留意事項

- ・ 中期目標期間の業務実績評価（中期目標期間評価）及び事業年度の業務実績評価（事業年度評価）は、業務実績報告書等を基に公立大学分科会が実施することから、法人は自己点検・評価を着実に実施した上で作成すること。
- ・ 年度計画及び中期計画の達成状況をより具体的に表すため、業務実績はできる限り数値で示し記載すること。
- ・ 数値で示すことが困難な場合には、達成状況が分かるよう具体的に記載すること。
- ・ 業務実績報告書は、法人による都民への説明責任の観点から、簡潔・明瞭かつ分かりやすい表現で記載すること。

2 法人の概要

(1) 現況

原則として年度末における以下の内容を記載すること。

- ① 法人名
- ② 設立年月日
- ③ 所在地
- ④ 役員の状況（非常勤を含む。）
理事長名、副理事長名、理事名、及び監事名
- ⑤ 業務内容
- ⑥ 設置大学、学校及び学部等の構成
- ⑦ 教職員数及び学生数

平成22年5月1日現在における教員数、職員数及び設置大学・学校ごとの学部・研究科等の学生数

(2) 法人の基本的な目標

法人の基本的理念、使命、目標等を記載すること。

3 全体的な状況

- ・年度計画の項目別実績を踏まえ、当該事業年度の業務全体の実施状況を総括的に記載すること。
- ・中期計画の全体的な進行状況についても記載すること。

4 項目別実績

(1) 中期目標期間評価（最終年度については、(2) を参照する。）

① 大項目の記載方法

- ・中期目標期間における中期計画の達成状況を項目ごとに S・A・B・C の 4 段階で自己評価すること。

S…中期計画を当初予定より大幅に上回って実施している。

（顕著な実績又は特に優れた成果が認められるもの）

A…中期計画を当初予定どおり実施している。

（達成度がおおむね 90%以上と認められるもの）

B…中期計画の実施状況が当初予定を下回っている。

（達成度がおおむね 60%以上 90%未満と認められるもの）

C…中期計画の実施状況が当初予定を大幅に下回っている。若しくは中期計画を実施していない。

（達成度が 60%未満と認められるもの）

- ・事前評価に係る業務実績報告に記載した、4 段階（S・A・B・C）の自己評価を記載すること。
- ・中期目標に対する 6 年間の実績について、項目ごと総括的に記載すること。

② 小項目の記載方法

ア 中期計画達成状況の記載方法

- ・当該項目における中期計画の達成状況について、記号と記述により記載すること。

・記号については以下から選ぶこと。

★…中期計画を達成した(6年間のうち達成年度に★印)

→…すでに中期計画を達成しているが、引き続き実施している。

る。

イ 平成 17～20 年度取組実績の記載方法

- ・記述方法については、事前評価に係る業務実績報告の記載内容に準じて簡潔に記載すること。数値により経年比較できるものは積極的に記載すること。

ウ 平成 21 年度実績概略の記載方法

- ・平成 21 年度の取組実績について、特筆すべき事項等についてその概略を簡潔に記載すること。なお、特に記載すべき事項がない場合は、斜線を用いて省略すること。

(2) 事業年度評価

① 大項目の記載方法

- ・当該項目における「特色ある取組、特筆すべき優れた実績を上げた取組、その他積極的な取組」と「今後の課題、改善を要する取組」について記載すること。

② 小項目の記載方法

- ・年度計画をほぼ予定通り実施した項目については、実績内容を「年度計画を当初予定どおり実施した。」と記載することを基本とし、年度計画達成に基づく成果、効果を、できる限り数値等を用いて積極的に記載すること。
- ・各項目の業務実績で示す数値等は、過年度との比較等を含めて記載すること。
- ・中期計画が達成されているため、年度計画を立てる必要が無い項目については、年度計画欄を「中期計画を達成済み」と記載すること。
- ・達成状況を項目ごとにS・A・B・Cの4段階で自己評価すること。

S…年度計画を当初予定より大幅に上回って実施している。

(顕著な実績又は特に優れた成果が認められるもの)

A…年度計画を当初予定どおり実施している。

(達成度がおおむね90%以上と認められるもの)

B…年度計画の実施状況が当初予定を下回っている。

(達成度がおおむね60%以上90%未満と認められるもの)

C…年度計画の実施状況が当初予定を大幅に下回っている。若しくは年度計画を実施していない。

(達成度が60%未満と認められるもの)

- ・法人が最重要課題として積極的に取り組んだ項目がある場合は、当該項目をゴシック体で示すこと。
- ・予算の項目についても、計画額と実績額に多額の差異が生じている場合には、その理由を明らかにすること。

5 特記事項

以下に示す事項について、当該事業年度の実施状況を中心に簡潔に記載すること。

(1) 特色ある取組、及び特筆すべき優れた実績を上げた取組

- ・法人化のメリットを活用した財務、組織、人事などの面での特色ある取組
- ・他の大学・学校にはない教育研究に関する特色ある取組
- ・顕著な実績又は特に優れた成果が認められる取組（自己評価S）の状況

(2) 遅滞が生じている取組、及びその理由

- ・中期計画の達成に向け遅滞が生じている取組（自己評価B・C）の状況及び遅滞が生じている理由

(3) 実績に関し、数値による過年度との比較が可能なものについては、それが分かる数値

(4) その他、法人（大学、学校）として積極的に実施した取組

6 附属資料

公立大学分科会における業務実績評価を的確に実施するため、業務実績内容を客観的に証明する附属資料を業務実績報告書とあわせて提出すること。提出する附属資料はおおむね以下のとおりとすること。

- ◆ 自己評価をSとした項目 (中期目標期間評価・事業年度評価) の記載事項に関するもの
- ◆ 法人が最重要課題として積極的に取り組んだ項目（ゴシック体）の記載事項に関するもの
- ◆ 数値目標を掲げている項目及び業務実績を数値で示したもの
- ◆ 特記事項に関するもの
- ◆ 法人の基礎的なデータ (中期目標期間における) 経年比較ができるもの
 - 教員数・学生数 (学校別)、職員数（都派遣・固有・人派）
 - 教員一人当たりの 学校別 学生数
 - 留学生数（学部・大学院・学校、国費・私費別）
 - 研究生等の在籍数（科目等履修生、研究生、研修員、聴講生、特別科目等履修生）
 - 学部・大学院・学校入試状況（募集定員・志願者数・志願倍率・入学者数）
 - 就職状況（就職者数・就職率）
 - 進学状況（進学者数・進学率）
 - 国家試験等（司法試験・看護師・理学療法士・作業療法士・放射線技師・公務員試験など）の状況
 - 科学研究費補助金採択状況（申請件数・採択件数・金額）
 - 外部資金受入れ状況（科学研究費補助金を除く外部資金）
 - 寄付金受入れ状況
 - 各種プログラムの採択状況（申請件数・採択件数・金額）
 - オープンユニバーシティ、オープンインスティテュート、オープンカレッジの開講状況
（開講予定数、開講数、受講者数、収支状況）
 - 現場体験型インターンシップ実施状況（受入枠・履修者数・実習先数）
 - 都との連携事業実施件数
 - 産学公連携の状況（技術相談件数・受託研究件数、共同研究件数など）
 - 入試広報の状況（大学・学校説明会参加者数、進学ガイダンス実施回数・参加者数など）
- ◆ 法人プレス資料（平成22年度分）

◆ その他、業務実績に係る関係資料